

平成28年3月10日

愛媛県知事 中村時広様
今治市長 菅良二様

国立研究開発法人日本医療研究開発機構（AMED）

執行役 榑林陽一

謹啓 春寒の候、貴職におかれましては、ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

さて、昨年の12月15日に国家戦略特区の第3次指定として広島県及び愛媛県今治市が区域の指定を受けられました。

その提案内容のうち貴県及び貴市において「獣医学部の新設」が提案されております。私としましては、AMEDの創薬開発研究の執行役として、また文部科学省の「獣医学教育の改善・充実に関する調査研究協力者会議」の委員として、第三者の立場から新設獣医系大学の設立を希望しています。

その理由は、獣医学はもともと薬学・理学に比して養成規模が小さいうえに、製薬に進む獣医師の数は減少し、今では創薬分野などにおいてかつて獣医研究者が活躍していた場所からいなくなってしまったのが現状であると捉えています。しかし、創薬研究、特に基盤研究を実用化に持っていくトランスレーショナル（橋渡し）研究分野では、丸ごとの動物を理解できる獣医の支援が必須であり、One Health（人を含め動物の健康は一つ）という医獣連携、薬獣連携が求められる中で、新しい獣医学教育を受けたライフサイエンス分野に対応できる獣医師が絶対的に必要であると考えております。

ドイツやアメリカの製薬企業では獣医学教育を受けた人が、製薬会社の研究開発のシニアリーダーとして活躍している状況を認識している私にとって、我が国の発展を鑑みたととき、獣医学部の新設により、ライフサイエンスのニーズにこたえる人材の育成を行い、この分野で獣医の能力を発揮できる人材を育て、排出してくれるよう切に願うものです。

獣医学部の新設の実現に向けて、皆様方の努力に期待するとともに、私としましても実現に向けて協力をさせていただきたく、ここにメッセージとしてお届けいたします。

敬白